

# のびやか



## 第9回青い鳥夏まつり



8月23日(日)にセンターを開放し地域の皆様とのふれあいを目的に、第9回青い鳥夏まつりを開催しました。今年のイベントは和太鼓演奏、すまいる音楽隊（職員バンド）、職員歌謡漫談、利用者さんの音楽活動の発表等が行われ、とても賑やかでした。その他にも車いす体験コーナー、スヌーズレンルーム体験コーナー、利用者さんの個展や病棟の活動紹介、病棟で活動して頂いているボランティア団体のコーラスとダンス、学生さんによるスタンプラリーや夏休み製作コーナーなど内容は盛りだくさんでした。



### 目次：

シリーズ「小児科から」	2
装具業者さんより ワンポイントアドバイス	3
「地域の事業所の紹介」	4~5
入所部門コーナー	6
読書コーナー	6
平成22年度 どんぐり園 入園児募集のお知らせ	7
掲示版	8



## 『脳性麻痺について』

青い鳥医療福祉センター

小児科医長 生田 岳人

今回からこのコーナーを担当させていただく小児科の生田岳人といいます。

当センターに通われているお子さんで、脳性麻痺と診断されているお子さんも多いと思います。しかし脳性麻痺について詳しい説明を受けたことがない方も多いかと思えます。そこで脳性麻痺について何回かにわけて書いていきたいと思えます。

### 脳性麻痺の定義

1968年の厚生省研究班による定義では、「受胎から生後4週までの期間に生じた脳障害の結果、永続的な運動・姿勢・筋緊張の異常をきたした状態で、その症状は満2歳までに実現し、進行性疾患や一過性運動障害または将来正常化するであろうと思われる運動発達遅延は除外される。」とされています。

つまり、赤ちゃんがお腹の中にいるときから生まれた後早い段階までに、脳に損傷を受けることによって起きます。脳に一旦受けた損傷は、基本的に変わることはありません。しかし、脳の損傷自体は変わらなくても成長、発達、加齢などによって、運動障害の症状は変化します。また他の二次障害が発生することがあります。（二次障害については次回以降に述べる予定です）

現在の日本での脳性麻痺の発生率は、出生1000に対して2前後です。2008年の出生数は109万人だったので、およそ2000人が脳性麻痺を発症しているということです。

### 脳性麻痺の原因

では、脳性麻痺の原因となるような脳が受ける損傷には一体どのようなものがあるのでしょうか？ 代表的なものとその起きる時期、頻度などについて述べます。

**①脳形成異常**：赤ちゃんの臓器がつけられる時期に、脳の細胞が正常な構造でできないことによって起きます。滑脳症、皮質形成異常などが含まれます。多くが正期産で出生体重は正常です。

**②脳血管障害**：妊娠中期以降から出生直後に起きます。脳室周囲白質軟化症(PVL)、脳梗塞、頭蓋内出血などが含まれます。PVLは早産で生まれた子、特に妊娠32週未満で生まれた子に多く見られます。

**③中枢神経感染症**：赤ちゃんが胎内にいる時の感染症です。サイトメガロウイルスの感染が主なものですが、他に風疹、ヘルペスなどの感染が原因となります。ほとんどが正期産で出生体重は正常です。

**④新生児仮死**：赤ちゃんが生まれる前後(周生期といいます)に強いストレス(胎盤早期剥離、前置胎盤など、他にも多くの原因があります。)を受けることにより低酸素の状態となり、それが脳障害を引き起こします。

**⑤核黄疸**：現在では光線治療などの進歩によりほとんどみられませんが、強い黄疸が脳障害の原因となります。

### ⑥原因不明のもの

さてこれらの頻度ですが、皆さんの持たれているイメージでは④の新生児仮死が主な原因であると思われるかもしれませんが、しかし実際は新生児仮死が脳性麻痺の原因となっているのは10%程度で、①の脳形成異常が1/3程度、②の脳血管障害が40 - 50%でこの二つが大部分を占めます。新生児医療の進歩により早産で生まれた子の救命率が上がったことも後遺症である脳性麻痺を発症している要因と考えられています。

今回はPVLについて書こうと思っています。



## ◆◇装具業者さんよりワンポイントアドバイス◇◆

## 「車いすの構造と名称及びその主な役割について」

☆☆ PART1 ☆☆

(有) アルテックブレース 島崎 豊和 氏

現在車いすを使用している方も、使い方はよく知っていても構造や、各部の名称、役割となると意外と知られていないものです。

今回は、車いす各部の名称とその主な役割について記したいと思います。

本題に入る前に冒頭の子「車いす」はなぜ「車椅子」と先生方は書かないのでしょうか？

答えは、「椅子」の「椅」この字が常用漢字に入っていなかった為公文書に使用しにくく（出来な）かった事によります。これも来年の国会への答申の結果により使用できそうです。

## ①フレーム

車いすを使いたいと思ったとき最初にユーザーとなる皆さんに選択していただくところであり、一番悩むところでしょうか。ざっと流しても

- ・使う人は：大人、子ども
- ・どんな症状：変形・筋力・座位能力は固定、変化するのか

- ・どのように：自走、介助、電動
- ・何処で使うのか：学校、家庭、室外、室内、乗り物（車、電車、飛行機）
- ・何のために：日常生活、介護、スポーツ、仕事
- ・その他：使用時間、サポートしてくれる人はいるか

主だったことだけでも、こんなにあります。

これら全てを網羅する事はもちろん不可能です。時間がかかっても慎重に選ぶことが長く、楽に使える車いすになります。もちろん医師・理学療法士・作業療法士・学校の先生・製作者とよく打ち合わせをすることが大切です。

## ②手押し（グリップ）

介助者がよく使う時はその高さに気をつけてください。低すぎると腰に負担が掛り、高すぎると肩など上肢に負担を掛けることとなります。また押す人が不特定で身長差があるときは高さ調整が出来る物を選択した方がよいです。

## ③バックレスト（バックサポート）

脊柱の自然な姿勢を保持し、リクライニングしたりサポート部の高さを調整する構造にすることにより体幹、頸部を支えます。

側弯や後弯、脊柱の捻れなどを起こさないように、また進行しないよう症状によりいろいろな工夫がされます。

- ・張り調整式バック（シートの裏に張り具合を調整するベルトが着いたもの）
- ・モジュラーサポートバック（j2、j3バック、フィットバック）
- ・モールドバック（どんぐりパッド）

## ④サイドガード

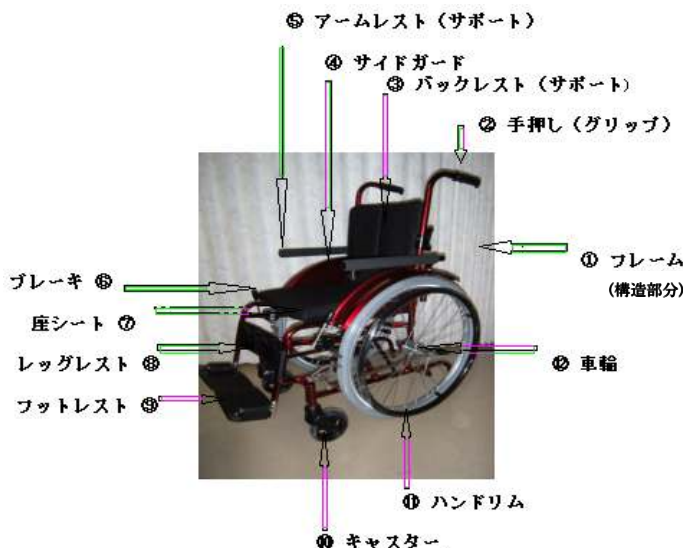
体や被服がはみ出してタイヤに触れないようにするためです。体の横ずれを支えるわけではありません。別名スカートガードとも言います。

## ⑤アームレスト（アームサポート）

肘やテーブルを置く台ですが意外に重要な役割を持っています。

脊柱の支持力が弱い場合など上肢の重さにより胸椎が後弯してしまいます。

上肢の重量を支える事により姿勢も良くなり手部の動きが改善したりします。また、日常生活動作（食事、勉強、仕事）ではそれぞれの適する高さは微妙に異なり、その高さはかなり重要といえます。それが認識されるようになり、最近では高さ調節が出来るものが増えています。



## 地域の事業所の紹介 Part6

### 『むつみグリーンハウス』訪問記

名古屋市中区にある「むつみグリーンハウス」「むつみ生活センター」「むつみ通園センター」を訪問しました。当センターからは名古屋城や白川公園などを通過し、大須観音から10分程度の所にありました。

最初に案内された部屋で、青山施設長から施設の概要をはじめ、現在の事業展開など様々な紹介がありました。その中で、利用者のことを‘仲間’と呼び、仲間と職員、地域が深く結びついていることが基礎にあり運営が成り立っていることが伝わってきました。運営主体である社会福祉法人むつみ福祉会は、「中区障害者地域生活支援センター」も含め4つの事業を行っています。設置母体は、「愛知県重症心身障害児(者)を守る会」で、重度障害者の生きがい保障と豊かな未来を目指すことを目的として事業を展開しています。

むつみ福祉会が発足し現在に至るまでには多くの歴史があったそうです。30年程前は、在宅の脳性麻痺の方は愛知県コロニーなど遠く離れた所まで通っていることが多かったそうです。「身近な地域に施設が欲しい」という長年の取り組みが実り、約20年前にむつみ福祉会が発足しました。始めは水耕栽培に取り組みましたが、細かい作業が多く、体への負担が大きかったことなどから、木工製品作り等へ移行していきました。その背景には、「むつみグリーンハウス」が所在する中区正木学区周辺は、昔から材木で栄えた町で、木工製品作りには適した環境でした。むつみ福



用の機械を寄付していただいたことも、大きな支えとなったそうです。施設内はその特徴が活かされ、木で作られた案内版が多く見られ、暖かい印象を受けました。

3階フロアは、授産施設「むつみグリーンハウス」があり、新聞紙を丸め、荷造りの時に使う緩衝材作りや、メダルケース作りなど様々な仕事を各コーナーに分かれ行っていました。木工製品コーナーでは、来年の干支であるトラの木工製品が並び、思わず「どこへ行ったら買えますか」と手に取って訊いてみたくなる商品がズラリと並んでいました。その横で作業をする‘仲間’、職員とお金の計算をする‘仲間’と、特性に合わせた仕事が進んでいました。ここでは、仕事量に応じた工賃が支給しているとのことでした。



社会の二代目理事長が、材木会社の方であったことから、木工材料や加工

2階フロアは、指定生活介護事業「むつみ生活センター」及び通所事業「むつみ通園センター」があり、生活センターの在籍は34名、通園センターの在籍は11名（1日の利用定員5名）とのことでした。日中活動では、心身の状況に合わせて、音楽・運動・感覚あそび・創作・訓練等の活動を取り入れていました。



室内活動以外に、散歩・買い物等の外出活動にも取り組んでいました。訪問した日は、畳の部屋で音楽療法が行われており、様子を見させてもらうことができました。小人数のグループ活動で、個々への関わりが充実しているように感じました。音楽療法士の他に、創作活動でも専門の外部講師と契約し、生きがいを感じることができる日中活動をめざして取り組んでいるという思いが、伝わってきました。



そして、生活センターの‘仲間’も生産活動に参加することができるシステム

となっており、作業に応じた工賃が支給されています。

また、趣味・クラブ活動に関しては、「むつみグリーンハウス」「むつみ生活センター」「むつみ通園センター」の‘仲間’が合同で活動する場もあり、障害の程度に関わらず、仲間同士で交流する機会を持ち、エンパワメントの支援もめざしているとお話でした。どんなに重症な方でも自己決定できるような環境作りの大切さを改めて考える機会となりました。

その他、高齢者サロン・地域子育てサロン・むつみ祭りなどの活動を通し地域の方との交流にも力を入れていました。中でも「むつみ祭り」では、バザー、飲食店な

ど地域の方も多く参加し毎年大盛況とのことでした。

身体障害者の授産施設である「むつみグリーンハウス」ですが、相互利用とのことで、知的障害など様々な方が、‘仲間’として利用されています。個々の‘仲間’が、むつみでの生活を通し、役割ややりがいを見つける姿が見られるとのことでした。また、むつみでの経験を重ね、新たな社会へスタートをする‘仲間’もいるそうです。地域に根付いているむつみ福祉会は、利用する多くの‘仲間’とともに常に前向きに進んでいると感じました。

訪問後、センターへ戻る車の中では、当センターでの日中活動で何か工夫できることはないか、障害に合わせた仕事を見つけるには…、地域との繋がりはどうすればできるのか、木工作品は素敵だったね…などいろいろな会話が弾み、今後の当センターについて考える機会となりました。

世の中では、政権が交代し障害者自立支援法がどのように進むか不安ではありますが、「むつみ福祉会」から頂いたパワーを、当センターでの障害児者の方との関わりに活かしていきたいです。  
(保育士：河内)



- ◆◇むつみ福祉会の事業内容◇◆
- ①むつみグリーンハウス：身体障害者通所授産施設
  - ②むつみ生活センター：生活介護事業
  - ③むつみ通園センター：重症心身障害児(者)通園事業
  - ④中区障害者地域生活支援センター：相談支援事業

## 入所部門

### ★★重症心身障害児(者)棟 「ひまわり西棟」★★

#### 「ひまわり西棟 「花火大会」の紹介」



ひまわり西棟では、夏の終わりに「花火大会」をしました。

開始の合図のパラシュート花火に続いて、噴き上げ花火や手持ち花火を楽しみました。音に驚いて泣いてしまう利用者さんもいましたが、最後は「ナイアガラの滝」で今年の夏を締めくくりました。

(保育士 服部)



## 読書コーナー

『しろいうさぎとくろいうさぎ』 作・絵 ガース・ウィリアムズ



私が保育士養成校在学中、初めて出会った絵本です。

しろいうさぎとくろいうさぎ、二匹の小さなうさぎのお話です。二匹は広い森の中に住んでいました。二匹は毎日、一日中楽しく遊びました。ある時、二匹で遊んでいる最中、くろいうさぎが座り込み、とても悲しそうな顔をします。どうしたのか訊ねるしろいうさぎに、くろいうさぎは言います。いつも いつも、いつまでも、きみと いっしょにいられますように。二匹は手を握り合い、たんぽぽの花を摘んで耳にさし、森に住む動物達がやってきて、月の光の中で結婚式のダンスを踊ります。

とてもきれいな絵と、うさぎの表情の豊かさ、想いを真っ直ぐに伝えるうさぎの姿に、子どもだけでなく、大人の心も温まります。

(保育士 堀)



# 肢体不自由児施設通園部門 どんぐり園

## 平成22年度 入園児募集のお知らせ

### どんぐり園の紹介

1歳6ヶ月～6歳までの就学前のお子さんとお母さんが一緒に通園し、『保育』『医療』『リハビリ』『相談援助』など総合的な観点からお子さんの発達援助とご家族のみなさんへの支援を行っています。



お誕生会でたこ・いかコンビになったよ!

### 保育目標

- 園に通うことにより生活のリズムを整えること
- 日常生活でのからだの働きを高めること
- 人とのかかわりを通して情緒を豊かにし、かかわりの楽しさを味わうこと
- よりよい親子のきずなをそだてること

### 大切にしていること

- たくさん子どもの「思い」に耳を傾けること
- いつも笑顔があふれる場所であること



### 対象児

1歳6ヶ月～6歳までの運動機能に障がいがあり、保護者とともに通園できる方

### クラス体制

	未満児・年少児クラス	年中・年長児クラス
対象年齢	1歳6ヶ月～3歳	4歳～6歳
登園曜日	火曜日・木曜日	月曜日・水曜日・金曜日
時間	10:00 ～ 14:00	10:00 ～ 14:45

※ 第4水曜日は誕生日会で全体保育になります。

### 募集期間

第一次 10月～12月25日

(この時点で定員になれば募集は終了)

第二次欠員があれば随時受け付け

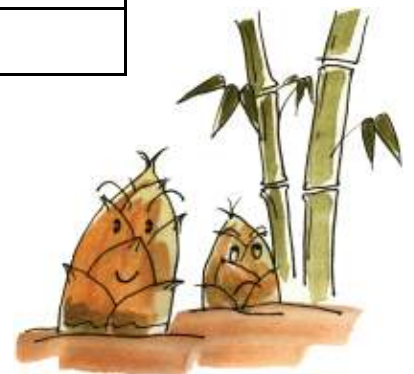


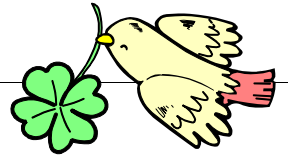
### 連絡先

指導課 葛谷・山田

電話 052-501-4079

お気軽にお問合せください。





## 外 来 診 療 の ご 案 内

	月	火	水	木	金
<b>午前</b> 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川)  小児科(麻生)  児童精神科 (野邑・森本) <第1・3・5>  歯科(岡本)	小児発達外来(安井)  皮膚科(杉浦)  児童精神科(小野) <第1・3・5>	リハ科(岡川)  小児科(麻生)  小児発達外来(安井)	整形外科(栗田)  小児科(鈴木) <第1・3>  小児科(生田) <第2・4>  耳鼻科(別府)	整形外科(栗田)  小児科(安井)  児童精神科(鈴木) <第1・3・5>
	耳鼻科(別府)  児童精神科 (野邑)  児童精神科(森本) <第1・3・5>  歯科(伊藤・岡本)  外来新患カフアレス	小児科・染色体外来 (山中) <第2・4>  児童精神科(小野) <第1・3・5>	リハ科(岡川)  小児発達外来(安井)  泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4>  眼科(高井)  歯科(加藤)	歯科(河合) <第4>  児童精神科(鈴木) <第1・3・5>  小児外科 (小児外科医) <第3>	

○平成21年10月1日現在の外来診療です。  
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

### ☆☆巡回相談のお知らせ☆☆

- ▼対象地域：海部・津島地区 (9市町村)
- ▼対象者：言葉の遅れや運動の遅れの気になる乳幼児・児童  
 知的・身体的な障害の心配な乳幼児・児童
- ▼場 所：津島市彩雲館 (津島市上之町1-54-2)
- ▼日 時：平成22年1月15日(金)10:00~12:00  
 平成22年3月12日(金)10:00~12:00
- ▼申込み：海部福祉相談センター  
 電話/0567-25-8118 FAX/0567-24-2229
- ▼問い合わせ：電話/052-501-4079 (地域療育担当)

ホームページもご覧ください  
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aoitori/>  
 \*過去の「のびやか」も掲載されています。

●名鉄犬山線 中小田井駅下車(新名古屋駅から犬山方面普通電車に乗り、4つ目の駅、所要時間9分)徒歩で約3分。  
 ●地下鉄鶴舞線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。  
 ●一方方面からは、南線22号を「古城1」で左折、4つ目の信号「中小田井4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左側。  
 ●名古屋方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。  
 ●四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。